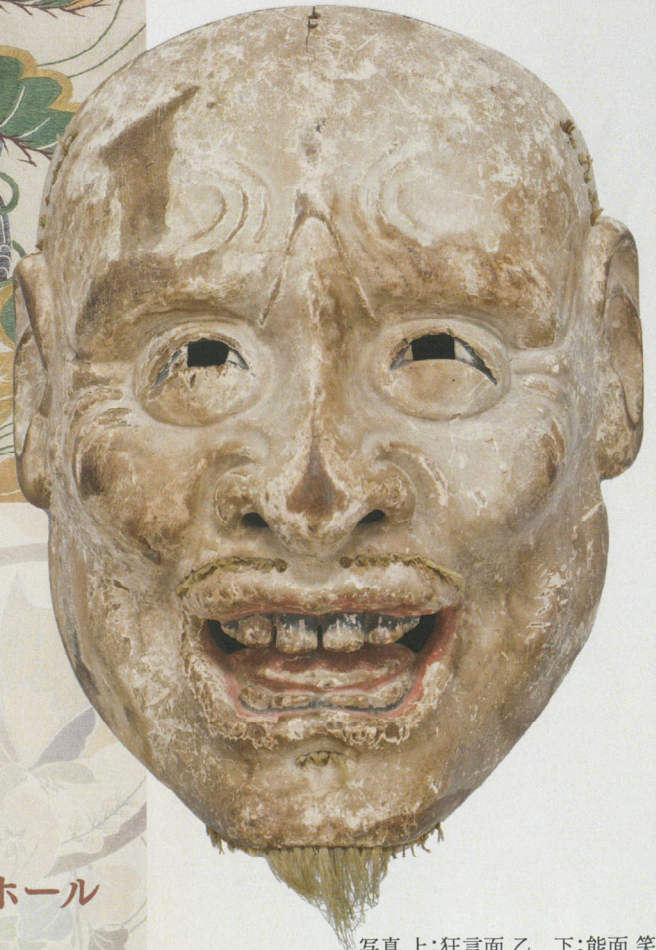


関市文化財調査報告会

# 春日神社・ 中世の能面と能装束



令和5年  
9月24日(日)

午後1時30分～午後4時  
わかくさ・プラザ 学習情報館 多目的ホール  
定員300名(当日受付・入場無料)

写真 上:狂言面 乙 下:能面 笑尉

左:縫箔 白練緯地松藤揚羽蝶文様  
すべて重要文化財(春日神社所蔵)

# 関市文化財調査報告会

## 春日神社・中世の能面と能装束

関市の春日神社(南春日町)は、関の刀鍛冶にゆかりの深い神社です。その創建は鎌倉時代、当時の都・大和(奈良県)から移り住んだ刀匠が、春日大社の分神を勧請したものと伝わります。以来、関に連綿と受け継がれた刀鍛冶の技術とともに、刀匠の信仰を集めてきました。

春日神社には、室町時代から江戸時代初めにかけての「能面・狂言面」や「能装束」がそれぞれ60点ほどあり、国の重要文化財に指定されています。中世の品々がまとまって現代まで受け継がれる例は少なく、これらの貴重な作品群について、関市では令和元年度からの3年間で詳細調査をおこないました。調査に携わり、報告書を執筆した担当者が、その成果をお話します。

### 開催案内

日 時	令和5年9月24日(日)午後1時30分～午後4時
会 場	わかかさ・プラザ 学習情報館 多目的ホール (岐阜県関市若草通2-1/無料駐車場あり)
定 員	300名(先着順)
参加費	無料
参加方法	当日午後1時から、多目的ホール前で受付します。 事前申込は必要ありません。

### タイムテーブル

午後1時30分 開会

午後1時35分～午後2時 報告①

「春日神社の歴史と文化財」

関市文化財保護センター

午後2時～午後2時50分 報告②

「春日神社の能狂言面」

浅見 龍介 氏

午後3時～午後3時50分 報告③

「中世能を語る－春日神社伝来能装束」

小山 弓弦葉 氏

午後3時50分～午後4時 アフタートーク

### 講師紹介



浅見龍介 氏

東京国立博物館 学芸企画部長  
「能狂言面」調査担当



小山弓弦葉 氏

東京国立博物館  
学芸研究部 工芸室長  
「能装束類」調査担当



能舞台〈関市指定文化財〉

### 重要文化財「能狂言面」 「能装束類」の公開について

春日神社の重要文化財は、通常非公開です。例年、「刃物まつり」の2日目に春日神社社務所で、能面と能装束の一部を公開しています。本年は、10月8日(日)午前10時～午後2時の予定です。(雨天中止)